

指の運動は「感ずる」意味のものである。

完全 全く一致—良し。

簡單 右手の人差指の指頭をちよつと口唇につけてから、上に向けた左手の掌の上を一つ打つ。

寛大 人差指と親指をまるく曲げて半円を形どった両手を左右に腹の上にびったりつけて、一つの円をつくる。それから両手を左右に引き離し大きい円を表わすつもり。腹(心)の大きさを示す。

肝腎 五指の指頭を上にした右手の掌を反対側の左の頬にすれすれに向け、軽く頬を叩たくように(頬にあたらぬ)こまかく左右に動かせる。手に触れるのも、はらはらとする思いをする程「大切」な「大事」な「肝腎」など云うことである。

監督(監視) 人差指と中指を曲げたその指頭を眼の先に持って行き、こまかく左右に動

かせる。左右に眼を配って「監視」「見きわめる」を表わしたもの。

堪忍 掌を下に向け五指の指頭を左にさした右手、その掌を僅かにまるく彎曲さして腹につけ下腹部に押え降す「腹の虫を押える」の意味。

看板 「揭示」「宣伝」と同じ手まね。

キ

樹(木) 握り拳にした両手の腕をV字形に交叉したまま拳をぐるりと一回転させる。樹木の幹の股のねじれた様態。

黄色 掌を左側に向け指頭を上にした右手の人差指と親指、その親指の方の指頭を額につけ、人差指の方をこまかく動かせる。

急に 「時間の流れ」を表わす手まねの途中その人差指の指頭を急に上にさし上げる

(掌は内側になる)

消える 五指の指頭を前方にさした両手の掌を向い合わせ、共に五指を徐々に曲げながら左右から接近させて両手が会う所で五指が全く握られて上下に重ね合わせる。映画の絞りの手法を真似たもの。(次第に周囲から円を締められて画面が消えて行く)

議員 政治—議論—委員。

記憶 「憶える」と同じ手まね。

気おくれする 「恐れる」と同じ手まね。

気をつける 監督——しっかりする。

機械 夫々人差指と中指を前方にさした両手を胸の前で平行にして、交互に前方から下へと丸く回転させる。

議會 政治—議論—會

気兼ね 「遠慮」と同じ手まね

期間 何月何日から(時の流れ—何月何日—まで(終り))

聞く 人差指の指頭で同じ側の耳に向って投げつけるように指す。耳に入れる。即ち聞くのである。

効く 薬——適する。

訊く 五指の指頭を前方にさし掌を左側に向けた右手を前へさし出して行く。「どうなの?」と相手に手をさし出して訊く身振り。「尋ねる」「何に」「どう」との疑問詞的に使われる手まね。

危険 「危い」と同じ手まね。

機械 (f) 機械が悪い。親指と人差指の指頭を左右の眉の間につけるばかりにして、皮膚をつまむように二指の指頭を合わせる。機械の悪い時に、眉間に皺を寄せることを表わす。(h) 機械がよい。「機械が悪い」とは反対に、眉の間にした親指と人差指の指頭を合わさずに、二指の間を広く開く。

氣候 寒い—暑い—いろいろ。